

特集・新設部活動

～スポーツチャンバラ&応援団～



優勝
を指し
ています
興味のある方は
一度見学に来て
ください。
随時、部
員募集中
です。

本校では、年々部活動に所属する生徒が増えており、ますます活気にあふれています。今年度は新たに「スポーツチャンバラ部」「応援団」が加わり、文化部運動部合わせて、その数は二十九となりました。今回、新設された「スポーツチャンバラ部」「応援団」の部長からの声を皆様にお届けいたします。

スポーツチャンバラ部部長
一年十六組 野澤 大喜くん
(横川中出身)

スポーツチャンバラ部は、部員集めや防具を揃えるといった、全てがゼロからのスタートでした。部長の私と顧問の新井先生を中心に、今では十名以上となった部員が面を付け、剣を持ち、基本から回り稽古、試合形式の練習などを行っています。活動の場を与えてくださった周囲の方々に感謝の気持ちを忘れず、栃木県初の高校スポーツチャンバラ部の伝統を築いていきたいと思っています。

応援団部長
三年組 戸松 亮くん
(宇短附中出身)



私たちが夢は、毎年春に行われる選抜高等学校野球大会(春の甲子園)で、野球部が全国優勝を果たすと共に、応援団が応援団賞として最優秀賞を獲得することです。私自身はあと少しで卒業してしましますが、これからこの学校の歴史を作り上げていく後輩たちが、その夢を叶えてくれることを信じています。

私たちが夢は、毎年春に行われる選抜高等学校野球大会(春の甲子園)で、野球部が全国優勝を果たすと共に、応援団が応援団賞として最優秀賞を獲得することです。私自身はあと少しで卒業してしましますが、これからこの学校の歴史を作り上げていく後輩たちが、その夢を叶えてくれることを信じています。



発行所
宇都宮短期大学附属高等学校
編集委員会
宇都宮市睦町1番35号
印刷所
ヤマゼンコミュニケーションズ(株)

野球部 公式戦初勝利を目指して!!



野球部は一昨年四月に創部。当時部員三〇人のうち、二、三年生の多くが他の部から転部してきた。創部当初は、内野ノックができる程度の狭いグラウンドしか使えず、素振りやキャッチボールなど限られた練習

しかできませんでしたが、選手たちは初めての公式戦での勝利を目指して、必死にボールを追いかけていました。七月十五日(月)、相手は鹿沼商工高校。一回に先取点、三回に追加点を奪ってリードを広げたものの、その後逆転を許し、三、四で惜しくも敗れました。公式戦初勝利とはなりませんでしたが、随所に光るプレーを見せた宇短附の選手たちに、スタンドからは惜しめない拍手が送られました。



文武両道! 履進し続けるソフトテニス部

- 《男子》
6月 関東大会 団体5位
インターハイ予選 団体優勝
9月 栃木県高校新人大会 団体優勝・個人優勝・準優勝・3位
- 《女子》
6月 関東大会 個人4ペア出場
インターハイ予選個人優勝
9月 栃木県高校新人大会 団体準優勝・個人3位

毎年、数々の戦績を残し、輝いているソフトテニス部。今年も各種大会で素晴らしい活躍をみせられました。またこの本校が誇るソフトテニス部は、顧問の成田純先生の熱心な指導の下、勉強にも全力を尽くしていることで有名です。



“諦めない精神” ソフトテニス部 芳村 玲くん (野崎中出身)のコメント
私たちソフトテニス部は、文武両道で何事にも全力で取り組んでいます。私たちはどんな困難に直面したとしても諦めません。それが歴代の先輩から学んだ精神だからです。この精神で新たな目標に向かって励んでいます。

受験チャンスは2回!! 変更ポイントは4つ!!

平成26年度高校入試説明会開かれる

平成26年度の高校入試説明会が、9月12日(木)午前9時30分から本校の須賀栄子記念講堂をメイン会場として行われ、県内外の各中学校から進路指導主事や第3学年主任・3年担任など120名を超える先生方が参加され、熱心な質疑応答がくりひろげられました。



説明をなさる本校校長先生

当日は、まず記念講堂大ホールで、本校の年間行事紹介ビデオを、ご覧いただき、続いて須賀校長先生の挨拶のあと、パソコンやDVDを活用した最新のスライド・ショー形式で各コースの学習内容や進学・就職状況をご覧いただきました。

次に、同小ホールにて、入試広報部長の萩原俊和先生から平成26年度の入学試験要項と学力特待生制度、また入学願書に関する説明とそれに対する質疑応答がありました。今年度入試及び入学制度には大きな変更点が四つあります。一つ目は、各教科の学力試験において、従来のマークシート方式に加えて一部記述式の問題を取り入れたことです。二つ目は、現在本校に兄弟姉妹が在学中に入学する場合は、兄弟姉妹が全額免除となること、三つ目は、入学金が三〇、〇〇〇円減額されたこと、四つ目は、入学金早期入学手続割引期間が設定されたことです。割引適用期間は二月十四日から二月二十日です。割引額としては、音楽科の受験料と授業料が他の学科コースと同額になったこと、これにより他学科との併願がしやすくなりました。

その後、本校調理科講師の安野耕造先生と茶寮やすの店主が調理科生徒の協力を得て調製したお手製の昼食をお召し上がりいただきました。お帰りの際にお持ちいただいた、本校生活教養科とコボリ洋菓子店とのコラボ商品「シトロン・ビュッフェ」宮城の手ぬぐいも好評でした。

また、第二回入試に合格した方には、併願料が減額される特典がつけられています。

音楽科を受験される方は、第二回入試は国・数・英・社・理の五教科、第二回入試は、国・数・英の三教科に、それぞれ実技試験(本人のみ)があります。詳しくは、直接本校へお問い合わせください。

生活目標
一人は
一校を
代表する

平成26年度 生徒募集要項

募集定員		男女	30名
普通科	特別選抜コース	男女	90名
	特進コース	男女	160名
	進学コース	男女	230名
	応用文理コース	男女	230名
2年次から、スポーツマネジメント、人文社会、理工一般、英語国際、情報経済、福祉・看護・医療、服飾・フードデザインの各選択科目を選びます。			
生活教養科		女子	120名
情報商業科		男子	120名
調理科	厚生労働大臣指定、調理師免許証無試験取得	男女	80名
音楽科	ピアノ、声楽、弦管打楽器、教育音楽、電子オルガンの各専攻	男女	40名

■入試要項 2回の受験のチャンスがあります。(調査書と学力試験の成績等を総合して選考します。)

入試の種類	入試日	試験科目	出願期間	入試時間割	合格発表
I 第1回入試 (併願・単願可)	1月4日(土)・1月5日(日)のどちらか1日出願時にお知らせします。	国・数・英・社・理の5教科 英語は「リスニング」を含みます。 音楽科志望の方は、1月6日(月)に実技と面接(本人のみ)	12月10日(火)・12月11日(水)	集合 8:40 諸注意 8:50 国語 9:10~10:00(50分) 数学 10:15~11:05(50分) 英語 11:20~12:10(50分)	1月9日(木) [中学校へ] 郵送します。
II 第2回入試 (併願・単願可)	1月30日(木)	国・数・英の3教科 英語は「リスニング」を含みます。 音楽科は1月30日(木)の午前に国・数・英午後実技と面接(本人のみ)	1月20日(月)・1月21日(火)	集合 8:40 諸注意 8:50 国語 9:10~10:00(50分) 数学 10:15~11:05(50分) 英語 11:20~12:10(50分)	2月3日(月) [中学校へ] 郵送します。

さらに充実 学力特待生制度

本校の第1回入試または第2回入試において、成績が特に優れた方には、単願・併願にかかわらず、次の学力特待生制度による奨学金が支給されます。

スーパー	入学金(入学時)	130,000円
1種	施設充実費(入学時)	140,000円
	授業料の金額から国の高等学校等就学支援金の金額を差し引いた金額	(毎月)14,100円
2種	授業料の金額から国の高等学校等就学支援金の金額を差し引いた金額	(毎月)14,100円
	入学金の半額(入学時)	65,000円

【備考】・2年次、3年次も成績が優れた方は、継続となります。
・上記の学力特待生に該当しない場合でも、入試の成績により、一般生として合格となる場合があります。



▲音楽科 村上優太くん(陽南中出身)による演奏



▲情報商業科 マルチメディア体験



▲プロのシェフによる「スイーツ実習」

今年で第十六回目を迎
え、内容もさらにグレード
アップした高校一日体験学
習が、八月三日(土)から八
月五日(月)までの三日間に
かけて盛大に行われ、県内
の中学校はもとより関東・
東北・信越各県などから約
七〇校、五四〇〇名を超え
る中学三年生や学校の先
生、保護者の方々の参加が
ありました。

高校は中学とは異な
り、自ら選んで入学する
場所です。皆さんには、
先ず、来年一月に行なわ
れる本校の第一回入試を
受験していただき、それ
から、三月の県立高校受
験にも挑戦していただき
たいと思っています。そ
して本校と県立高校の両
方に合格を決めて、それ
ぞれの高校の特色をよく
見比べてうえで、自らの
夢と希望が実現できる高
校を、皆さん自身で決定
してください。」とごあい
さつがありました。

最後に、各種マスコミ
でも取り上げられた全国
初の学内コンビニ「ファ
ミマ宇短附店」と、本校
舎隣の須賀学園教育会館
を見学！お帰りの際に
は、おみやげの本校オリ
ジナル・キャンパス・
グッズをお持ち帰りの
いただきました。

あなたの夢と希望を見つける場所 ~DREAM&FUTURE~

県内高校
最多の

高校一日体験学習に
5400名を超える参加者!



▲中学生でにぎわう前庭



▲各学科の発表に熱心に聞き入る、中学三年生と保護者の皆さま



▲生活教養科 ファッションショーのステージから

音楽科 なかにわコンサート

宇短附生に、楽しい
ランチタイムミュージック



音楽科では月一回、昼休みに本校舎中庭で
楽しいミニコンサートを行っています(通称なか
わコン)。キーボード、パーカッション、金管、木管楽
器、声楽などのアンサンブルで、ライトクラシッ
クから、ジャズの名曲、ゴルドン・ポパーにいた
るまで、楽しい演奏を披露しています。学期末
には、教育会館生徒ホールのレストランでも演奏し
、お楽しみバイキングのランチとともに毎回超満
員の大好評を博しています。



本校創立者である須賀栄子
先生の命日にちなんで「やさし
い心づかい運動」の一環として、
生活教養科の生徒が製作した
エプロン一三枚を宇都宮市役
所に寄贈しました。今年で二十
五年目の伝統行事で、一年生が
入学後初めて製作を担当しま
した。毎年、保育園実習などで
お世話になる皆様に感謝の気
持を込めて子ども部長の高
橋利幸さんに手渡ししました。
これからも継続していきたいと
思っています。

生活教養科 コボリ洋菓子店、南が丘 牧場とスイーツを共同開発



本年は、コボリ洋菓
子店と「シトロニ
ジュ」、南ヶ丘牧場と
「カaramelフロマージュ」
の二種類のスイーツを
共同開発しました。
「シトロニジュ」はレ
モンのさわやかな風味
を楽しむことができます。
「カaramelフロ
マージュ」は、ガン
ジー牛のミルクを使
用した濃厚チーズ
ケーキに、ナッツが入っ
た香ばしい香りのカラ
メルがかかっています。
どちらもおいしく仕
上がり、ご賞味ください。

手作りのエプロン寄贈

情報商業科 販売体験inろまんちっく村

本校情報商業科では、
栃木県商業研究発表大
会に毎年出場していま
す。今年には「道の駅」を
テーマに、地域における
役割・流通スタイルを研
究しました。研究の過程
で、道の駅ろまんちっく
村のマーケティング戦略
を学び、六月八日(土)、
実際に販売にも挑戦し
ました。SNSによる事
前告知をするともに、
販売促進の起爆剤とし
て「ゆるキャラ」を登場さ
せると、家族連れや三世
代での来場者が集まり、
次々と商品が売れまし
た。中でも調理科手作りの
プリンが子どもたちに
も好評で、早々に完売と
なりました。



森島 菜さん(宝木中出身)のコメント
今回のろまんちっく村での販売体験
は、日頃の机上の学習では得られな
い経験を、たくさんの方と触れ合う
ことが出来ました。私は本校卒業後
就職しますが、社会人としての第一
歩を踏み出す上でも、とても貴重な
経験をさせていただきました。

経済問題や国際問題など、
多くの課題を抱える世の中
で、今後も私たち一人ひと
りが精いっぱい元気に学校生
活を送ることが大切であると
考えています。二十一世紀を
リードする須賀学園の様子
を、紙面のすみずみから感じ
取っていただけたら幸いです。
(編集委員長・齋藤麻優)

調理科 宇都宮 市長と ランチで トーク



テーマは、「健康長寿社会
の実現に向けて」。八月十九
日(月)地産地消でヘルシー
で美味しいうち作りカレーを
食べながら、佐藤市長と健康
長寿な宇都宮の未来につい
て話し合いました。市長はカ
レーを召し上がりながら「美
味しい、地産地消で感激!少
子高齢化社会の進む中、お

年寄りの心豊かな生活と若者
が未来に夢を持てる社会の実
現を目指していきたいと
と激励してくださりました。

生活教養科 調理科 「とちぎ地産地消 夢大賞」で 「夢大賞」受賞

「とちぎ地産地消夢大賞」は、地
産地消の一層の推進を図ることを
目的とし、県内において地産地消
活動に意欲的に取り組んでいる
優良な団体を表彰するものです。
今年度、本校の生活教養科・調理
科が、「夢大賞」を受賞しました。
今後も、地域活性化のために、積
極的に活動に取り組んでいき
たいと思います。

◎副会長 秋本 薫(普通科
後援会会長・三の二) 岩淵
均(生活教養科後援会会
長・三の十七) 柳岡 宏(情
報商業科後援会会長・三の
十八) 穂坂 行二(調理科後
援会会長・三の二十) 刈部
明彦(音楽科後援会会長・
二の二十五)

会長に戸松 亮くん (三・一) 平成二十五年 生徒総会開く

五月三十一日(金)午後三
時四十分から、須賀栄子記
念講堂大ホールで平成二十
五年生徒総会が開かれ、
新たに会長として戸松亮く
ん(三の二)、副会長には岩
淵真子さん(三の十七)と福
田隆平くん(二の六)が選任
されました。

編集後記

今号は、新設部活動の紹
介、そして来年一月と二月
に二回実施される平成二十
六年度高校入試に関する特
集記事です。部活動が主
ます盛んになり、学校全体
がさらに活気にあふれるこ
とは、うれしいことです。

また、夏休み中三日間に
わたって行われた「一日体
験学習」では、県内高校最
多の五四〇〇名を超える中
学生や保護者の皆さまの真
剣な表情が、とても印象的
でした。